

うえなえ

Vol.402 2021.11

千歳こぶしクリニック 30年を振り返る

社会医療法人こぶしでは、幅広い地域医療の展開を理念に掲げ適宜地域のニーズに対応してきましたが、この度診療体制の強化を図るため、診療機能を集約することになりました。これに伴い、千歳こぶしクリニックは2022年2月末をもって、診療体制を植苗病院に移行することになります。その長い歴史を当クリニックのスタッフに振り返ってもらいました。



クリニック外観



2017年ごろのデイケア

ムを運営してきました。限られたスタッフでデイケア運営だけでなく外来診療や訪問看護も担うことが出来たのは、各スタッフがいろんな役割を臨機応変にこなしてきたことが大きいと思います。外来部門もデイケア部門も職域に固執せず、得意不得意をお互いにカバーし合いながら動くことができる、この柔軟性とチームワークの良さが千歳こぶしクリニック最大の持ち味でした。

奇しくも千歳こぶしクリニックが開院して30年の節目となる今年、診療体制が植苗病院に移行されることが決定しました。千歳の地での診療を終えることについては「地域の医療として考えてほしい」など惜しむ声も少なからずあったことを最後に書き添えておきたいと思います。

(文責: 服部)



開院当初の千歳こぶしクリニック



千歳市保健福祉部障がい者支援課 障がい者認定係 係長 小島登美子

8回目となる今回は、千歳市保健福祉部障がい者支援課障がい者認定係で係長をされている小島登美子さんにお話を伺いました。

広報委員：小島さんの略歴や現在のお仕事について教えてください。

小島さん：私は、元々保健師として循環器科や人工透析センターといった医療機関に勤めていました。H21年より、千歳市役所の保健師として働くようになりH30年より現在の部署に至っています。当課は、障害福祉に関する業務を担っており、私の担当は、主に障害福祉サービスに必要な①障害支援区分の認定と②支給決定業務です。対象者さんの手続きがスムーズに進行するように相談支援事業所や障害福祉サービス事業所・医療機関さんと調整しています。

広報委員：榎間さんからの質問で「千歳市内の就労支援事業所、作業所などは何件ありますか？また、利用されている方の人数を教えてください」とあります。よろしくお願ひします。

小島さん：市内の就労支援事業所は移行やA型・B型事業所も含めて25か所あります。（R3年8月31日現在）利用されている人数は、住所地特例も含めると538名の方が利用されています。

広報委員：小島さんにとって関係機関との「連携」というのはどのように考えられていますか？

小島さん：そうですね、先ずは「人との信頼関係を大切にしたい」と考えています。そして、私は保健師として「笑顔が広がる～笑顔の連鎖」をモットーにしてきました。対象者さんの笑顔がご家族や友人の笑顔につながり、それが地域にも広がっていくというイメージでしょうか。最終的にそれが市民全体につながっていくと考えています。その上で、連携と考えると「お互いに歩み寄る気持ち」が大切ではないかと。これは、「うちじゃないからそちらで」というのではなく、「うちよりもそちらでの支援やサービスが利用できるのではないか」といったつなげる気持ちです。そのためにも、お互いの支援やサービスのことを知っているということが前提になると思います。お互いを知るという意味とそこからお互いにやりとりしてより対象者さんの利益になることを一緒に考えていくという2つの「歩み寄り」です。

広報委員：今後どのような「連携」ができたらいいとお考えですか？

小島さん：関係者一同で「市民に向けて同じ方向を見れたら」と。基本的に、市民の方が主役であり市民の方が向く方向に関係者一同も同じ方向に向けたら」と思っています。きっと、立場や支援サービスが違うため関係機関の市民に向ける角度はそれぞれ違うかもしれません、最終的に市民の方自身が自分の人生や生活の方向を向くことができるようになると願っています。また、「人のパワー」って大事ではないでしょうか？私は関係機関皆さんに助けてもらっているという感覚で仕事をしているので、その関係機関の皆さんのが元気であってほしい。だから、どこかの機関に・誰かに負担が偏らないように市としてできる調整はしていきたいと考えています。

広報委員：最後に苫小牧市東地域包括支援センターの伊藤さんへの質問をお願いします。

小島さん：65歳という年齢を機に「障がい」から「介護」福祉サービスに切り替わってしまうという現行の制度ですが、その中で戸惑いやご苦労されていることはありませんか？

広報委員：小島さん、ありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願ひいたします。

活動報告

農耕活動（植苗病院）

10月の農耕活動では、かぼちゃやサツマイモが収穫され、参加者でいただきました。画像はかぼちゃを煮たものです。自分たちで作った野菜を自分たちで料理していただくのは何とも言えない美味しさですよね。



かんたんDIY（千歳こぶしデイケア）

10月8日に行われたかんたんDIYではハロウィンのリース作りでした。昨年も同様に作りましたが、今年は三日月形にもチャレンジしました。

丸い形で売られているリースをわざわざ切ってバラバラにし、三日月の形に整えるという一手間が加わり、難易度が上がりましたが、それぞれ素敵なリースに仕上がってきました。



画龍点睛

がりょう
てんせい

R温泉郷というところがある。いや、正確にいうと「あった」。断崖が続く海岸線を通る国道沿いに、中規模のホテル一軒とそれを取り囲むように旅館が数軒あるだけの小さな温泉だ。その湯元となる山の中の一軒宿が土砂崩れで十年近く前に廃業、海岸線沿いのホテルも旅館もその後営業をやめてしまい、荒廃した建物が長い間残されたままになっていた。ある旅の途中そこを通過していく、そう言えば最後に残されていた旅館があったなあとふと思い出し、看板を頼りに山に

入ってみた。海を見晴らす小さな土地にその小さい宿があった。営業しているか分からなかったが、玄関の戸を開くとおばあさんが出てきた。「温泉に入りたいんだけど」「山の中の温泉のパイプが壊れちゃってるみたいで、もうチョボチョボしかお湯が出ないから、すごいぬるいよー」「それでもいいよ」そんなやりとりの後、人肌くらいのぬるさのお湯を堪能。ほんのり硫黄の香る絶品の湯だった。「もう私はポンプ直しに行けないしね、お金かけて直してもね、」見送ってくれたおばあさんと別れて二年がたったが、あれから間もなくその旅館も閉業したことを知った。今年の春には長年放置されていたホテルの解体も始まったらしいが、あのお湯とおばあさんことは何だか心に残っている。

(M.T)

麓まで紅葉すすみ秋日和

★ 霽

新総理期待してます国民は

★ W

お 知 ら せ

◆ 外来休診のお知らせ ◆

社会医療法人こぶしでは12月28日（火）～1/3（月）の間、外来診療が休診、巡回バスが下記の様に変更になります。ご利用されています皆様にはご不便をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2022年1月11日(火)より植苗病院精神科外来が下記のようになります。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願ひいたします。ご不明な点がございましたら植苗病院受付にご確認ください。

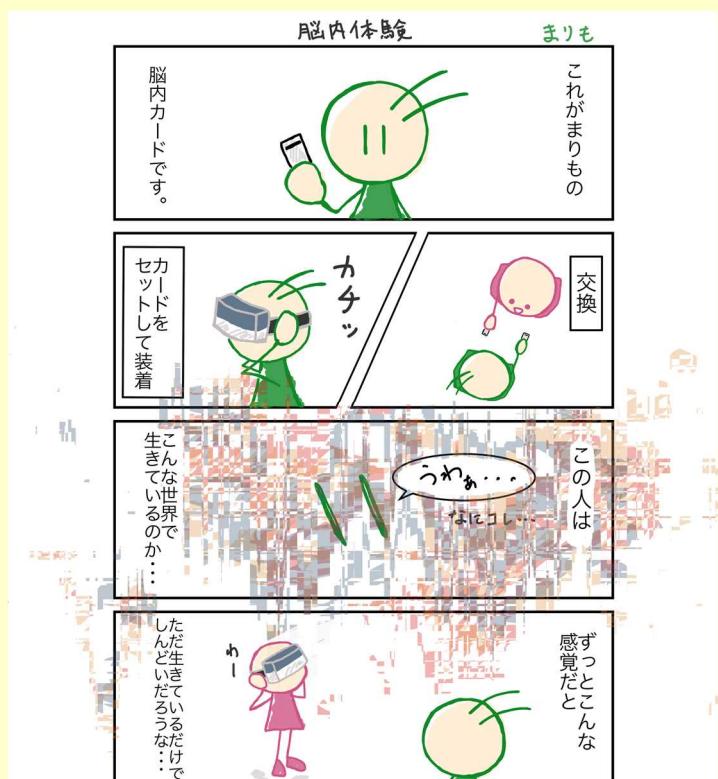


	月	火	水	木	金
午 前	片 岡 川 並	阿 部	片 岡 高 木	高 塚	河 野
午 後	-	阿 部	片 岡	高 塚	-

◆ 巡回バスの変更について ◆

12月1日（水）より巡回バスの停留所および停車時刻が変更になります。詳細は窓口にて配布しております巡回バス時刻表かホームページ（<http://www.uenae-hp.or.jp/bus2.pdf>）にてご確認ください。巡回バスをご利用されている皆様にはお手数をお掛けいたしますが、よろしくお願いいいたします。

※Googleなどの検索サイトにて“植苗病院”で検索していただくと社会医療法人こぶしのホームページにたどり着けます



病む人と出会い

病む人を支え

病む人に学ぶ

発行

社会医療法人こぶし広報委員会

苦小牧市字植苗52-2

TEL:0144-58-2314

<http://www.uenae-hp.or.jp/>



建設中のボールパーク

〈後記〉

新しいボールパークも、気が付くと随分出来上がってきました。頑張れば徒歩圏内なので一度は行ってみたいのですが、今はまだ終える作業のほうで頭がいっぱいです。 (H)